

令和3年度出土遺物公開事業 「らくがく縄文館」講座（第1回）

令和3年8月29日（日）午後1時30分～4時

市立市川歴史博物館

演題1

「縄文土器の補修孔」（第2章 縄文土器のライフサイクル関連）

土器のひび割れを矯正するために開けられた補修孔。実は最初に気がついたのは、大森貝塚を発掘したエドワード・S・モースです。皆さんはご存じでしたか？

補修孔の話掘り下げて、わかりやすく紹介します。



演題2

「堀之内式土器と曾谷式土器」（第3章 土器型式と標式遺跡関連）

土器の文様や形などの属性が共通するまとまりを型式と呼び、標式とした遺跡名をつけて年代観や地域性の指標とします。千葉県にある7型式のうち、市川市にゆかりのある堀之内式と曾谷式について、標式遺跡とともに紹介します

